

釜房ダム貯水池湖沼水質保全計画（第6期）の概要

1 計画期間

平成24年度から令和3年度までの10年間

2 計画期間内に達成すべき目標

		第6期計画策定時 (平成23年度)	目標値 (令和3年度)	現状 (令和2年度)
COD	75%値(mg/L)	2.50 [2.50]	2.46	2.67 [2.60]
	参考：年平均値(mg/L)	2.41 [2.22]	2.37	2.41 [2.30]
	傾向	概ね横ばい、2.5 mg/L 前後で推移		
全リン	年平均値(mg/L)	0.0153 [0.0164]	0.0150	0.0145 [0.0163]
	傾向	横ばい		
全窒素	年平均値(mg/L)	0.52 [0.53]	0.48	0.40 [0.40]
	傾向	概ね横ばい、直近5年間は目標値を下回る値で推移		
N/P比	年平均値	34	32	28

[]内は過去5年間の平均値

3 主な施策（第5期計画から継続）

- 生活排水処理施設の整備
- 家畜排泄物処理施設の活用
- ダム貯水池の対策：ばっ気装置の運用等
- 森林の適正管理
- 流出水対策地区の対策推進

4 第6期計画の中でも推進する主な施策

- 環境学習教室（水辺教室）
水辺教室の様子（右写真）



- 川崎町内清掃活動
- 環境にやさしい農業の普及支援活動
- 面源負荷対策*

森林整備を着実に推進し、森林整備による面源負荷低減効果を検証

*面源負荷とは、「原因が特定できない負荷」とも言われており、汚れの原因がどこにあるのか特定しにくいような広い場所等で発生している負荷のこと（例：森林、市街地）